

政策提言シート

氏名

内堀 雅雄

㊞

現状認識と将来像

福島県の現在	
・地震、津波、原子力災害、風評、新潟福島豪雨災害等の未曾有の複合災害に見舞われ、今なお12万人を超える避難者を抱えてはいるが、産業の再開や各種の拠点整備、復興公営住宅の整備などによって、復興が形となって現れてきている。	
現県政に対する現状認識(現職の場合、任期中の成果と課題を含む)	
・まずは原発事故の早期収束、安全・着実な廃炉が実現できるよう力を注ぐこと ・原子力災害からの復興、震災・津波災害からの復興を進めること。 ・日本一子どもを産み育てやすい環境、日本一健康長寿な県づくり、過疎中山間地域対策など、地域社会や人口政策に関する課題に取り組むこと	
目指すべき将来像	
・住んでいる方も訪れた方も「福島県で良かった」と思える豊かなふくしまになる ・2020年の東京オリンピックには、世界から注目される復興を遂げている ・医療や再エネ、ロボットなど先端技術産業によって産業の活性化や新たな雇用が生まれている	

重要政策(優先順位の高い順に3つ)

第1優先	原子力災害からの復興・再生	
・避難地域が世界からも注目されるような復興を遂げ、震災前よりも発展することが、福島県全体の豊かさにつながる。		
第2優先	日本一の子育て環境づくり	
教 育：英語や理数、異文化を理解する教育、科学、文化、スポーツなどにおいて本物で学べる環境。 子育て：18歳以下医療費無料化等の親への支援を進めつつ、子育て世代の働き方、地域の関わりなどにオール福島で知恵を集めて取り組むこと		
第3優先	産業の振興	
・農林水産業における風評払拭及び日本一づくり、トップブランドづくり。 ・商工業における人材育成や販路開拓、企業誘致等。魅力ある雇用の創出。 ・観光における教育旅行の復活や福島の魅力の磨き上げ。 ・研究開発拠点を生かした新たな産業の革命		

テーマ①:「産業政策」についての具体策(優先順位の高い順に3つ)

第1優先	内容:	研究開発拠点を起爆剤とした、医療や再エネ産業など世界市場も見据えた先端産業集積	
	期限:	2020年	数値目標: 医療機器生産額:H24年 1,089億円を2020年に1,750億円以上(総合計画)
	予算:		
	財源:	復興財源、医療機器開発ファンド	
	手段:	トップセールスによる誘致等	

第2優先	内容: 中小企業等既存企業に対する新技術の導入や人材育成、販路開拓支援、雇用確保支援 期限: 継続 数値目標: 県が支援したことによる商談成立:H25…378件を2020年に3,760件以上(総合計画) 予算: 財源: 一般財源 手段: トップセールス等
第3優先	内容: 震災後立地補助金で立地した企業のケア 期限: 数値目標: 新規立地企業の倒産等を限りなくゼロに 予算: 財源: 手段: : ニーズ等の把握

テーマ②:「少子高齢化問題の取り組み」についての具体策(優先順位の高い順に3つ)

第1優先	内容: 子ども教育充実や18歳以下医療費無料化等親への支援等子ども政策 期限: 数値目標: 合計特殊出生率:1.48を上回る(総合計画) 予算: 財源: 手段: 文化・スポーツなどにおける「本物・本場」の誘致、18歳以下医療費無料化 育児中の女性のキャリアアップなど
第2優先	内容: 高齢者施設、介護施設の拡充 期限: 数値目標: 特養定員を平成26年10,179人から増加させる、介護老人保健施設の定員を平成26年7,638人から増加させる(総合計画) 予算: 財源: 一般財源(交付税)、社会福祉施設等施設整備関係国庫補助金ほか 手段:
第3優先	内容: 医療人材(医師、看護師、介護士、理学療法士、心理療法士、放射線技師)の確保 期限: 数値目標: 医師平成24年178.7人/10万人を平成29年200人/10万人(総合計画) 予算: 地域医療再生等 財源: 手段: 従事者支援策(働きやすくキャリアアップできる)、トップセールス

上記の2つのテーマ以外の重要課題(優先順位の高い順に3つ)

第1優先	内容: 震災・津波被災からの復興、万全な危機管理体制・災害対策 期限: 数値目標: 予算: 財源: 手段: 国・県・市町村の連携体制も含めた危機管理・災害対策体制の在り方の検討
第2優先	内容: 農林水産業・商工業・観光の連携による新たな付加価値の創出 期限: 数値目標: 予算: 財源: 手段: 6次化の推進、日本一づくり、トップセールス
第3優先	内容: 内外を結ぶ県土基盤(道路、鉄道、空港、港湾等)整備 期限: 数値目標: 予算: 財源: 手段: 災害から命を守る」「広域交流・観光」「過疎・中山間地域の活力」などの観点から整備